会員増強委員会だより

第3回 aaca サロンの開催報告 『街とのインターフェイス・ 人とのインターフェイス』

Urbanist 会員増強委員会委員 展示委員会委員 三菱地所設計 日本建築美術工芸協会会員



新實広記 (ガラス工芸家)・水谷誠孝 (洋画家)・稲垣 誠 (インテリアデザイナー)

山極裕史

第3回の aaca サロンはガラス工芸家の新實広記さんと新会員の洋画家の水谷誠孝さん・インテリアデザイナーの稲垣誠さんに「ま ちとのインターフェース・人とのインターフェース」というテーマで皆さんの活動や作品を紹介していただきました。

インテリア・ガラス・絵画と言う異なる次元で活動されていますが、作品の共通概念として空間あるいは、それぞれの作品に触れる・ 見るなど人の五感を通した表現の中で「まちや人とのつながり」に焦点を当てディスカッションをして頂きました。

今回は Covid-19 対策として大成建設の会議室を借り、東京から稲垣さんと私が参加、名古屋在住の新實さん水谷さんは在宅でリモー トにより視聴者に配信を行いました。

新實さんの VESSEL と言う作品シリーズは美術館やギャラ リーの他、パブリックな空間に置かれている作品が多くありま す。ガラス鋳造の作品で比較的小型のものから全長 3M の作品 まで様々です。作品の制作過程も紹介され、無垢のガラスの作 品の迫力が生み出されるまでの過程に最大限の注意力と多大な 労力と時間がかかることを知らされました。また、作品を依頼 者とともにディスカッションし作品にテーマを与え創り出すとい う取り組みにも共感を覚えます。

水谷さんの作品はテンペラ画で日本では非常に珍しい西洋絵 画の古典技法を用いた作品です。制作過程をパネルの制作、下 絵、顔料、金箔貼り、描画など細かく説明され非常に興味を引 く内容でした。作品はメリーゴーランドをモチーフとした作品 が多く、大きさも多種多様なもので、ギャラリーから個人宅、 パブリックな室内など幅広い場所に展示されています。また、 油彩画に比べ退色がなく、いつまでも鮮やかな色彩が放たれる のが特徴です。ギャラリーで実際の作品を拝見した印象は日本 画の琳派をイメージさせられる金色とほかの色のコントラスト や美しさが印象的でした。

稲垣さんの作品はインテリアデザイナーで、先のお二人と異な ります。現在はサドルという事務所を立ち上げ活躍中ですが、丹 青社で様々な用途のインテリアデザインに携わり、仲間たちと立 ち上げたデザインユニット AUN2H4 としてプロダクトデザイン を手掛け、ミラノでのドムスアカデミーミラノサローネへの挑戦、 ゲンスラーでの経験など多様な活動を展開してきた中で様々な 作品を紹介していただきました。中でも学芸員資格を活かした博 物館の展示空間をデザインした作品は展示物の配置や動き、見 せ方を含めて空間が一体化し、非常に興味を引く作品でした。

作品紹介後、「まちとのインターフェース・人とのインター フェース」と言うテーマでディスカッションをして頂きました。

新實さんは、パブリックな場所の作品は「建築や自然、人、 歴史」と共鳴し合う空間として作ることを目指し、人それぞれ の関わり方でアートに触れるきっかけになればと良いし、パブ リックであるが故のノイズも積極的に取り入れ、それを美に変 えていくことが作家の役割であるという話をされました。

水谷さんからは個人の思いが作品とのつながりを深め生活の 一部となり、待合室や画廊のウインドウやロビーなど様々な人 の目に触れる場所では、作品が多くの人に触れることで訴求力 が高まり、これからの「人中心の社会」で人間が本来持つ感性 を刺激し、社会を構成する一人ひとりの人間が活力をもって生 きるということにつながるのではないかという話がありました。

稲垣さんからはホテルにおけるアートは空間の質を高めるた めに欠かせない要素であり、展示空間ではインテリアデザイン を勝たせないことが第一であり、イタリアの経験で言えるのは アートとデザインの境界がなく普通の生活に取り込まれている という文化性の違いにも言及されました。

3人の方から貴重な意見を頂き、これからの「人中心の社会」 を考える中で、アートやデザインは、直接、人の五感や六感に 作用し益々、重要な役割を担う気がします。 aaca サロンでは美 術/工芸/建築など様々な分野で活躍されている方々との交流 を促進し、各分野でさらなる人間の豊かさ/街の豊かさ/生活 の豊かさを高めるために活動を行っています。さらに入会者が 増え異分野交流が活発となることを期待しています。



講演者の 作品

Carllion Café AUN2H4 稲垣誠





(530×652mm) 水谷誠孝

「メリーゴーランド 「Vessel」大手門・JX ビル/大手町 新雷広記



[VESSEL のうつわー」 新雷広記